

CAMERA EYE



メディセレスクールは熱気と笑い声に包まれていた。
感極まって涙をこぼす場面も…

激変する薬剤師国家試験を突破し、 社会貢献できる人財へ



児島 恵美子校長

3

月6日、7日の2日間
にわたり薬剤師国家
試験が行われ、30日の合格発
表をもって、今年も全国に数
多くの薬剤師が誕生した。

06年から、薬剤師教育の
充実を目指した改正学校教育
法および改正薬剤師法が
施行され、6年制教育の設
置がスタート。

以来、旧4年制教育で学
んだ学生の駆け込み受験は
激化の一途をたどっている。

また、09年6月1日から
施行された薬事法の規制緩
和によって、薬剤師が不在
でも一部の医薬品の取り扱
いが可能になった。現場で
の医師不足も相まって今後、
薬に関する知識以外のスキ
ルをも身に着けた薬剤師の
需要が増えるだろう。

そこで受験戦線の現状を
知るべく、薬剤師の国家試
験予備校を運営する
Medisere SCHOOL（児島恵
美子校長）において先だっ
て行われた、薬剤師国家試
験出陣式、「めでいやま」の
会場へ足を運んだ。

年代も性別もさまざま
な受講生の姿が見られ、駆け
込み受験の深刻さが垣間見

える一方で、「絶対合格」を
目指す受講生の真剣なまな
ざしは印象的であった。

最後の講師陣一人ひとりの
趣向を凝らした激励では、
笑いあり目頭を押さえる場
面ありと、緊張と和やかさ
が混在する講師と受講生の
一体感、試験にかける熱い
思いを感じた。

こうした雰囲気も、同校
が心理カウンセラーの資格
を持った講師陣をそろえ、
薬の知識だけでなく、うつ
病などの初期診療も担える
薬剤師の育成に注力してい
るからこそと言える。

07年、大阪での開校以来、
初年度の160人から口コ
ミで今年度600人となっ
た受講生増加や合格率90%
以上の実績もうなずける。
昨年4月には、新宿区に東
京校も開校した。

「改定にとまどう学生も多
くいますが、当校はしっか
りと前準備をしてきている
ので、何も問題はありませ
ん。国家試験合格をゴール
とするのではなく、一人で
も多く社会に貢献できる薬
剤師を育てていきたい」と、
児島校長は話す。